

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 15日

事業所名 児童発達支援センターパステル 単位1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			・トランポリンを置いてたくさん遊べるスペースを確保しています。	・専門職の訓練が展開できるよう設備の充実を行っています。
	2 職員の配置数は適切である	7			・専門職に関しては、重心児事業所と兼務で配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			・入り口にはスロープ。トイレも車いす用や手すりを設置しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			・モニタリング時に目標の確認と振り返りを行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			・保護者の意向を把握し改善に取り組んでおります。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			・当法人のHPIにて公開しております。	・たよりに関しては、保護者へ直接渡しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			・監事監査で評価して頂き改善に取り組んでおります。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		・法人内研修へ積極的に参加しています。	・コロナの影響で研修機会が減っていますが、今年度は参加していきます。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			エイブルを使用しながらアセスメントを行っております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			専門職によりアセスメントを実施しております。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・保育士、児童指導員が専門職と活動内容を立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			・保育士、児童指導員が専門職と工夫しながら行きます。また、児童の能力に応じて課題プログラムを都度行っています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		・休日はなるべく屋外での活動ができるよう計画しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			・子供の状態に合わせ、個別や小集団での活動を行っています。	
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・職朝に振り返りを行い、支援内容の確認や役割分担を行っています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			・記録をしている際に支援の振り返りや改善について確認をしています。	・帰宅時間が異なるので、終礼は行っていませんが、必要なときは職朝で確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		・サービス提供後に日々の記録を記入しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			・スタッフに児童の様子を確認しながら見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7			・季節の行事や企画など組み合わせを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・主に児童発達支援管理責任者が出席していますが、専門職が必要な場合は一緒に参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			・モニタリングなどに学校側も参加してもらい、情報共有や確認を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1		・重心児1名と医ケア児1名の受け入れを行い、直接医療機関へのやり取りはないですが、確認事項は保護者を通して行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			・必要に応じて情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			・必要に応じて情報共有を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			・ペアレント・プログラム事業を進めていくにあたって、様々な助言をもらいながら進めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2		5	・同事業所の単位2の児童と行事などは一緒に行っています。	・コロナの影響で他事業所との交流機会がなくなっているので、今年度から少しずつ行っていきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1		自立支援協議会の子ども支援専門部の構成員として参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時や連絡帳を活用して、1日の子どもの様子を共有しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7			今年度下半期より、ペアレント・プログラム事業の受託し、保護者の方へお伝えしています。	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			利用契約時に保護者へ説明しています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			・必要に応じて相談を受け、関係機関へ繋いで会議を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2		5		・コロナの影響で開催することが出来ませんでした、今年度は企画してきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			・管理者にすぐ報告するよう周知し、迅速に対応させて頂いています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			・毎月の便りを作成し、当事業所での活動や行事の報告を行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	7			・職員に対して誓約書を交わし、取り扱いに注意を行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			・子供の特性に合わせて様々なツールで行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		4		・コロナの影響で行っていませんが、今年度は法人で秋まつりを開催し、状況に応じて地域の方々にも発信していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			・各種マニュアルを策定しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			・年2回消防訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			・事業所内研修で行っています。	・研修機会が少ないので、今年度は行っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			・契約時に保護者へ事前に説明をしています。	・現在身体拘束を行う児童はいませんが、保護者と職員と共有しながら行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			・現在利用している児童にはいませんが、利用された場合は対応していきます。	・昼食は委託で行っているため、委託先の管理栄養士と調整を行っていきます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			・作成し確認を行っています。		